

しゃきょう (社会福祉協議会)

# あいしょう

2022・9 No.66



「ちょこっとボランティア体験」の一つの体験メニュー、おまつりボランティアに参加したみんなが、高齢者の方へおまつりをプレゼント!! 背景は、愛知高等養護学校の生徒さんが書いてくださった花火の絵とともに★

## CONTENTS

P2~3/令和3年度本会事業報告他 P4/赤い羽根共同募金他 P5/住民の方の声 P6/ボランティア通信 P7/おしらせ P8/インフォメーション

## 社会福祉法人 愛荘町社会福祉協議会



愛知川事務所 滋賀県愛知郡愛荘町市731番地 TEL 0749 (42) 7170 FAX 0749 (42) 7178  
 秦荘事務所 滋賀県愛知郡愛荘町安孫子1216番地1 TEL 0749 (37) 8063 FAX 0749 (37) 4343 有線2043  
 ふれあい共同作業所 滋賀県愛知郡愛荘町愛知川1749番地1 TEL FAX 0749 (42) 2264  
 メールアドレス: ainosato@ex.bw.dream.jp (愛知川事務所) ikiiki-c@office.eonet.ne.jp (秦荘事務所)  
 ホームページ: http://aisho-shakyo.or.jp



## 令和3年度 愛荘町社会福祉協議会事業報告・資金収支決算報告 概要版

令和3年度は、「みんなで進める 笑顔あふれる福祉のまちづくり」の理念のもと、社会福祉法人の本旨に基づき自主性、自律性のある事業運営と愛荘町の公の施設の指定管理者としてコンプライアンスの徹底や人材育成など適正な対応に努め、第3次愛荘町地域福祉活動計画を策定しました。また、身近なところでも新型コロナウイルスの感染が拡大するなか感染予防対策を徹底し、生活を支える相談支援や介護・障害福祉サービスを継続して提供することができました。

一方、厳しい経営状況のなか運営してきた社会参加促進型通所介護事業を年度末に休止し、令和4年度よりは介護認定を受けていない65歳以上の方を対象とする健康体操や居場所・外出支援を一体的かつ重層的に実施する「あなたの1日プロデュース事業」を愛荘町より受託して取り組むことといたしました。

### ○長引くコロナ禍でも「つながり」を継続する見守り活動を推進しました。

- ・身近な地域で「見守り活動」等の福祉活動の情報交換や災害時要配慮者の避難等の地域課題の解消に向けた意見交換の場づくり(16箇所)を推進しました。
- ・高齢者世帯等への訪問機会を提供(年22回・70名)しました。



### ○コロナ禍のボランティア活動を工夫して取り組みました。



- ・コロナ禍によるサロンや福祉施設等への訪問活動が依然として低調ななか、ボランティアしやすい活動の場をつくり、コーディネートしました。
- ・子どもや若年層がボランティア活動のきっかけとなる「チョボラ体験」(4回・延5団体74名)を実施しました。

### ○子どもたちを中心とした福祉の学びの場づくりに取り組みました。

- ・子どもたちを中心とした福祉学習のメニューをもとに小・中学校や高等学校と連携し、体験や学びの場をコーディネート(5校495名)しました。
- ・子どもたちが身近に福祉を体験できる場をつくりました(1回・17名)。



### ○福祉の視点で災害支援や身近な地域の要配慮者への取り組みを推進しました。

- ・住民主体の災害ボランティアセンター設置協定に向けて防災関係機関と協議し、検討を重ねました。
- ・身近な地域での防災・減災の活動にむけた学びの場をつくりました(2回延85名)。



### ○あらゆる世代のくらしの困りごとに対応する取り組みをおこないました。

- ・子育て世帯を対象とした「わんぱくひろば」(142日開所4,284名利用)、高齢者や障がいのある方など判断能力が十分でない方を対象とした地域福祉権利擁護事業(延181名利用)として丁寧な相談対応に努めました。
- ・生活困窮世帯に対して自立相談支援(受付90件・延24名利用)や長引くコロナ禍への自立支援金給付の相談(19件)、緊急小口資金特例貸付や生活福祉資金貸付特例貸付による対応(相談361件・貸付308件)をおこないました。
- ・くらしの困りごとや悩みごとに対する相談所を福祉センターにて開設しました(44日開所13件)。
- ・福祉課題への対応できる相談機関のネットワーク拡充にむけて介護分野や障害福祉分野の相談専門職や民生委員・児童委員との課題共有と情報交換の会議を実施しました(2回19名)。
- ・新型コロナウイルスワクチン接種会場まで移動が困難な方を対象に送迎を提供しました(延29件)。

## ○コロナ禍でも住み慣れた地域で安心して暮らすサービス提供に努めました。

コロナ禍においてもみんなと住み慣れた地域で安心して暮らす介護サービスや障害福祉サービスの感染予防対策の徹底のもと、サービス提供の継続に努めました。

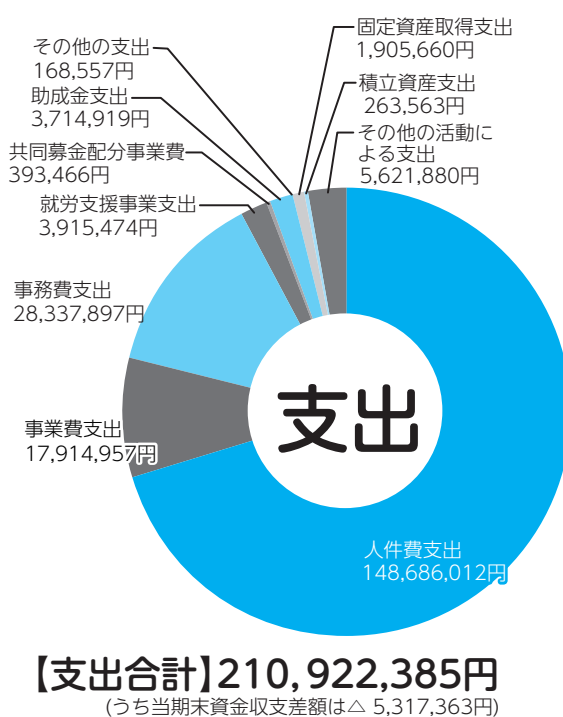
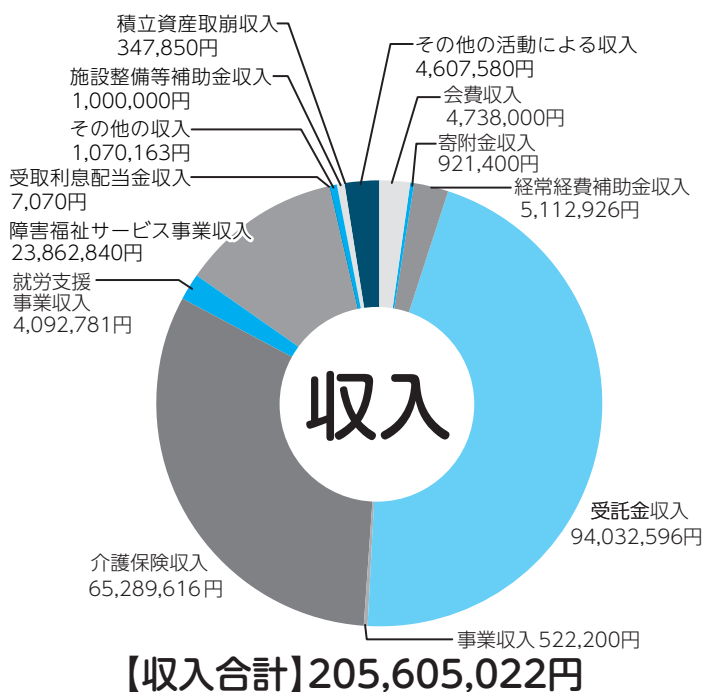
- ・要介護認定の方に介護サービス計画の作成とサービス利用を調整する居宅介護支援事業を提供しました（開所 293 日 給付管理 335 名介護予防給付管理 122 名）。
- ・要介護認定者対象の訪問介護・介護予防対象の方への家事支援型訪問介護サービスや障がいのある方を対象とした居宅介護等サービスを提供しました（延訪問 6,728 回）。
- ・要介護認定や要支援認定の方を対象にいきいきセンターにて通所介護サービス（開所 251 日 3,863 名）と介護予防対象の方に愛の郷にて社会参加促進型通所介護サービス（開所 206 日 2,291 名）を提供しました。
- ・障がいのある方を対象とした就労継続支援サービス（開所 237 日 2,685 名）をふれあい共同作業所にて提供しました。

## ○みんなで取り組む福祉活動の推進を図りました。

- ・住民をはじめ、福祉関係機関・施設や企業法人等が参画して第 3 次愛荘町地域福祉活動計画を策定しました。
- ・地域福祉関係者と情報提供の場づくりや活動助成金の交付などをおこないました。



# 令和 3 年度 愛荘町社会福祉協議会 資金収支決算



令和 3 年度資金収支は、前年度より介護サービス事業収入は減少し、障害福祉サービス事業収入は横ばいでしたが、コロナ禍による世帯収入減少に対応する生活福祉資金特例貸付や生活困窮者自立支援金給付にかかる受託金の増額により事業活動収入は増加しました。一方、事業活動支出は、定年退職に伴う人件費とふれあいサロン活動助成金を特例により交付したことにより前年度より増加しましたが、経費削減や施設の利用実績の減により事業費や事務費が減少しました。また、訪問車輛の更新に伴い、購入助成を受けるなど、財源確保に努めましたが、前年度より収支差額は改善しているものの、引き続き超過しました。なお、年度末をもって厳しい経営状況であった社会参加促進型通所介護事業の活動を休止しました。さらに、今後も経営状況が厳しい事業について運営の見直しや福祉基金等の活用を検討を図っていく予定です。

みなさまの   
赤い羽根共同募金が、

愛荘町の笑顔  としあわせ   
を支えています！！



インターネットスマートフォン

からでも  
募金が可能に  
なりました！  
ぜひご活用  
ください



今年も引き続き、共同募金運動へのご協力をよろしくお願いいたします。

運動期間：赤い羽根共同募金（令和4年10月1日～令和4年12月31日）

歳末たすけあい募金（令和4年12月1日～令和4年12月31日）

令和3年度に愛荘町内でお寄せいただいた募金は **総額 4,465,089円** でした。

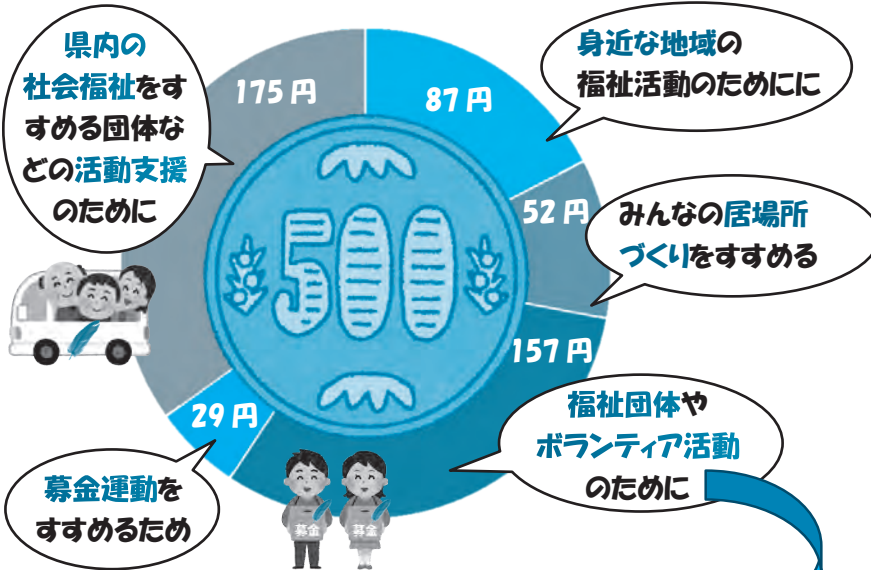
一般募金：2,866,044円

歳末たすけあい募金：1,599,045円



あたたかいお気持ちを  
ありがとうございました！！

例えば500円を募金した場合の使い道は・・・



新興住宅地などへ訪問活動

いきいき見守り訪問事業



子ども遊び場助成

地域のサロンの様子♪



ボランティア活動の様子

訪問で渡すプレゼント作り♪



赤い羽根共同募金の助成を受けられているグループから、  
今回は手話サークル「ゆびゆい」さんの活動をご紹介します！！

●手話サークル「ゆびゆい」とは…？

主に毎週水曜日、町立福祉センター愛の郷で手話の学習などをされているグループです。  
また、町内の学校において、手話を教えてくださっています！！

●秦荘西小学校での手話体験（令和4年7月11日実施）のようす



耳が聞こえない方のくらしについて  
わかりやすくお話していただきました。

実際に手話を体験！！  
あいさつや自分の名前など、たくさん教えていただきました😊



## 地域の皆様からたくさんのお話を聴かせていただきました♡

社協では、住民の皆様や愛荘町に関わる福祉専門職の皆様からお話を聴かせていただき、困りごとを抱える方への支援や地域福祉活動の課題や取り組みに活かしています。

### 【愛荘町福祉関係者地域連携会議】

地域の福祉関係者（民生委員・児童委員様）・相談機関相談員さんの情報共有と課題に向けた取り組みの検討を行い、困りごとを抱えた方への支援ネットワークの構築を目指しています。

### 【愛荘町地域福祉活動推進会議】

自治会での福祉活動の理解と取り組みを進めるために、町内の区長・総代様と福祉推進委員様、民生委員・児童委員様に参加いただき、地域福祉活動や社会福祉協議会活動との情報共有や意見交換をおこなっています。

### 皆様から いただいた声 (抜粋)

#### 【居場所や活躍支援】

- ・これからの居場所は、「つどえる場」「たまり場」のイメージがある。
- ・行きたい時間に仲間と一緒に出掛ける等やりたいことができる場が良い。
- ・困りごとを抱える方の支援として、有償でボランティア的な取り組みはできないか。「役割を持つ」ことは重要なポイントだと思う。
- ・活躍したい方と手伝ってほしい方を「マッチング」すればどちらにも効果があるのではないかな。



#### 【若者・つながり】

- ・私の自治会では子どもが少し増え、学校から帰ってきて草の根ハウスで遊んでいます。子どものパワーを高齢者にもいただきたいと考えます。高齢者と子どものつながりの場があればいいな。
- ・今の若い世代の様子から、この第3次計画に関わる人は少ないのではないかな。これからさらに「参加しない」「協力しない」人は増えるように思う。若い人が関わるようにしていかないといけない。第3次計画では「つながり」と言っているが、そのつながりを持つことが難しくなっている。
- ・地元を離れていたけど、震災に遭い地元へ戻った際に地元の仲間が仕事を紹介してくれたりした。子どもの頃からの地元の仲間って大切であり、若者には若者のつながりがあると思う。
- ・第3次計画について、愛荘町全域ではなく、個別に状況の違う自治会に合わせた取り組みを考えていただきたい。



#### 【見えにくい課題】

- ・地域のサロンに参加した時に「ご家族と暮らされて幸せですね」と話したら、「一緒に暮らしているから幸せとは限らないよ」「家では何も話さない。サロンに来てみんなと話すことが楽しい」と言われ、見えなかった困りごとに気づかされました。

#### 【関わりの難しさ】

- ・相談を拒否される方（SOSを発信されない）への対応は難しい。専門職が訪問等をして、関係が出来ていないと、中々本心はお話しされません。相談で大切なのは「信頼」です。そのためには、関係づくりから進め、長い目で見た関わりが必要です。信頼のある近隣住民と専門職が連携することで相談や支援が進むかもしれませんね。

愛荘町社会福祉協議会では、地域の皆様の声を常に傾聴し整理して課題やこれからの取り組みを皆様と考えていきます。

第3次愛荘町地域福祉活動計画では、住民の皆様が主体となり、地域の声から出てきた課題を解決していくための取り組みを計画化したものです。

地域には、様々な声があり困りごとがあります。その困りごとに対して、町全体で取り組むこともあれば、自治会や個別で対応していくこともあります。個人を大切に作る時代に合わせた「つながり」を模索しながら、地域福祉活動の事務局として愛荘町社会福祉協議会は、皆様からいただいた声・視点に合わせた取り組みを、住民や関係機関・団体、町内企業・法人様などと一緒に取り組むを進めていきたいと考えていますので、今後ともご理解ご協力をよろしくお願いいたします。



# 愛荘町ボランティアセンター つうしん

愛荘町ボランティアセンターでは、地域での福祉活動を応援して下さるボランティアさんがたくさんおられます。現在、愛荘町ボランティアセンターに登録していただいているボランティアさんは、**544名**です！！

コロナ禍で、地域のサロンや福祉施設でのボランティアの受け入れがストップしていることも多く、「ボランティアの活動の場」や、「ボランティアさん同士の交流の場」も減り、以前の様に気軽に出会える場が少なくなりました…

しかし！！



ボランティアさんのアンケート調査では、「他のボランティアの状況を知りたい」「話をしたい」「何かしたい」と思っておられる方がたくさんおられることがわかりました！！



そこで、ボランティアセンターでは、コロナ禍でもできるボランティアを考え、今年度も取り組んでおります！！取り組みの一部をご紹介します！！

ボランティアカフェが  
居場所型になりました♡

愛知中学校の教室をお借りして、ボランティアカフェスタートアップイベントを開催しました♪

今までイベントとしてしてきたボランティアカフェを、お部屋を開放して「ボランティアさんの情報交換の場」「ボランティア活動の場」「ボランティア同士の交流の場」が自由にできるスタイルに変わりました！月1回、第4金曜日の13:30～16:00まで、愛の郷にて開放しておりますので、好きな時間に好きなタイミングで来てください♪

地域のボランティアさんによる新聞ラッピング講座

ラッピング講座後は、一人暮らしの高齢者さんへのプレゼントをラッピングしてもらええるボランティアを提案し、8月のボランティアカフェの時間に作っていただき、無事9月にお渡しできました！

他の取り組みでは、「チョボラ体験」もあります。(表紙に写真掲載しております)「チョボラ体験」の内容につきましては、次号以降に掲載します！

ボランティアグループの  
コラボ演奏



おしらせ

★「にこにこ😊ボランティアプロジェクト学びFes！！」を開催します★

被災地での活動で培われた被災者一人ひとりとの寄り添い方をヒントに、日頃から人と気持ちよくコミュニケーションをとる方法や、自分の身を守るための方法を普段から身に付けられるような講座を企画しました！！どんな時にでも役に立つ事間違いなしです！！そのスキルが、実はボランティアにつながることも☆詳しくは、社会福祉協議会ホームページや回覧文書等でご覧ください

(日時) ☆全体講演 / 令和4年9月29日(木) 19:00～21:00 場所: ラポール秦荘いきいきセンター  
講師: 被災地NGO協働センター 村井 雅清 氏  
(NHK「こころの時代」でも取り上げられました)

☆講座 ①令和4年10月8日(土) 10:00～11:30 場所: ラポール秦荘いきいきセンター

②令和4年10月15日(土) 10:00～11:30 場所: ラポール秦荘いきいきセンター  
講師: 「会話の泉」事務局長 コミュニケーションアドバイザー 横山 由紀子 氏

③令和4年10月28日(金) 19:00～21:00 場所: ラポール秦荘いきいきセンター  
講師: 元彦根市消防本部消防長 笠原 恒夫 氏



# 愛の郷の空調改修工事について



現在、愛の郷では、空調設備・自家用電気工作物の改修工事を行っております。ご利用の方にご不便、ご迷惑をおかけしております。今後とも町民の皆さまが気持ちよく施設利用していただくため、ご協力をお願いいたします。

## ★ ★ わんぱくひろばへあそびにきてね ★ ★

愛荘町社会福祉協議会では、愛荘町から委託を受け、子どもの健やかな成長を願って、子育てひろばを開催しています。

未就学児の親子を対象に、地域で安心して子育てをおこなえるように「ほっ●」とできる交流の機会や相談、安全な遊び場づくりなどの子育て支援をおこなっています。

【場 所】 愛の郷は空調改修工事のため、川久保地域総合センターで開催しています☆工事が終わり次第、愛の郷で開催予定です。その際につきましては、愛荘町社会福祉協議会ホームページ等でお知らせします。

【対象者】 就学前の子どもとその保護者【持ち物】水分補給のためのお茶をご持参ください。

【開催日】 月・水・木曜日 9:00～12:00  
13:00～15:00



新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては、開催を休止させていただく場合がございます。

「わんぱくひろば」の開催状況については、愛荘町社協ホームページをご覧ください●●

☺ 第3木曜日は、「お誕生日会」！お誕生日のおともだちをみんなでお祝いします。♪また、助産師さんも来てくださいます。！身長・体重も測れますよ。

～新型コロナウイルス感染症予防のための利用に伴うお願い～

・利用前には、必ず親子ともに検温をお願いします。

※37.5度以上の熱がある場合や同居の家族の方で感染の疑いがある場合は、利用をご遠慮いただくようお願いいたします。

・ランチタイムは当面の間利用できません。12:00～13:00は換気をしますので、ひろば内に入ってくださいことはできません。

・感染拡大を踏まえ3密を避けるために、1日15組に利用人数を制限させていただいておりますので、ご了承ください(状況に応じて変更させていただく場合がございます)。

## ひとりで悩むより一緒に考えませんか？

愛荘町社会福祉協議会では、地域で生活をしていくうえでの相談窓口として、各種相談事業を行っています。

### ●心配ごと相談所

この相談所は、町民みなさまの生活に関する相談の窓口として開設しています。

【開設日時】

毎月第1～4水曜日 13:30～15:30

【開設場所】

第1・3水曜日…町立福祉センター愛の郷

第2・4水曜日…ラポール秦荘いきいきセンター

【相談員】

第1・4水曜日…民生委員・児童委員

第2・3水曜日…社会福祉協議会職員

### ●福祉相談（随時）

この相談所は、町民みなさまの福祉に関する相談の窓口として、随時、社協の各事務所で開設しています。

### ◎行政相談所

日時：毎月第2木曜日 13:30～15:30

場所：町立福祉センター愛の郷

### ◎人権相談所

日時：毎月第4水曜日 13:30～15:30

場所：町立福祉センター愛の郷

心配ごと相談は、電話でのご相談もお聞きしています。

秘密は守ります。お気軽にご連絡ください。

愛の郷：42-5843（直通）

いきいきセンター：37-8063

有線 2043



# インフォメーション

## ありがとうございました

愛知川小学校の環境委員会のみなさんから、お花とお手紙をいただきました。  
ありがとうございました🌸



愛荘町商工会女性部のみなさまが本年も、愛の郷の除草作業をしてくださいました！  
ありがとうございました🌸

## 町民の方からも、あたたかいお気持ちをいただきました。

(令和4年5月15日～令和4年8月15日)

匿名…30,000円 匿名…10,533円 匿名…3,120円

「社会のために少しでも役立つことをしたい」という町民の皆様からのあたたかい善意の気持ちで寄せられた金銭や物品は、町内の福祉施設や生活困窮者世帯など必要とされる方へ有効に活用させていただきます。

## 協賛品のご協力、ありがとうございました！

会では、身近な地域の住民が一人暮らしの高齢者の方に、見守りを希望される家庭を訪問し声かけ等を行いながら、つながりの中で安心して暮らすことが出来るよう「いきいき見守り訪問事業」を行っております！  
その際、町内のボランティアの方や、町内事業所・福祉施設等からの協賛品を持って伺っております。

愛知中学校ボランティア委員会のみなさまからの暑中見舞いハガキ



町内の調理ボランティアの方による手作りのお惣菜(エビピラフ)

(株)たねや様  
コーヒースティック



町内の手芸・裁縫ボランティアのみなさまから、自宅で作成していただいた、粗品タオルをアレンジしたぞうさんタオル



協賛していただきました



ウェスティ工業(株)  
さまからいただいた布



彦根市にある「因幡創作袋物」因幡悟様からいただいた紐



滋賀県立大学のハンドメーキングサークルの方が、アレンジしたものを考えてくれました！  
作成したものは、今後お知らせいたします！

7月20日(水)、愛知高校セミナーハウスで、中学生・高校生・高等養護学校生・大学生・地域ボランティアの方等が集まり、プレゼント作りをしました！！  
紐の協賛については、愛荘町商工会よりお声かけいただきました🎵

たくさんの方が協賛品づくりに関わっていただき、「楽しかった」「またしたい」という声があり、今後も取り組んでいきたいです😊

